

基本的取組事項の例

この表は、SDGs達成に資する取組例を分野別に記載し、当該取組と「3側面」「主なSDGs関連ゴール」との関係を整理したものです。様式第2号「SDGs達成に向けた宣言書」作成時の参考としてください。なお、この表に記載の取組以外の分野・内容の取組を妨げるものではありません。

また、各項目を参考にした個別の取組が、いずれの「3側面」と「ゴール」に該当するかについては、その取組の内容を勘案して個別に判断してください(ex.P2 ④製品・サービス【社会課題解決】に関連し、「子ども食堂」を運営した場合、必ずしも「3側面全て」、「17ゴール全て」に該当するとは限りません)。

分野	項目及び取組例	3側面該当			主なSDGs関連ゴール
		経済	社会	環境	
①人権労働	【差別・ハラスメントの禁止】 ・性別、年齢、障害、国籍、出身などによる差別、セクハラ、マタハラ、パワハラ等の各種ハラスメントを防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別や人権侵害、ハラスメントがないことを確認している。	○	○		
	【労働安全衛生・メンタルヘルス・健康経営・ワークライフバランス】 ・業務中の事故等を防ぐため、長時間労働の防止に取り組み、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。また、従業員・職員等が心身ともに健康を維持できるよう、メンタルヘルスやワークライフバランスの維持、職場環境改善のための従業員からのヒアリングなどの対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	○	○		
	【多様な人材・多様な働き方】 ・多様な人材(女性、外国人、障害者、高齢者等)が多様な働き方(テレワーク、フレックスタイム、託児環境整備による子連れ出勤等)で十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	○	○		
	【人材育成】 ・能力開発、教育訓練の機会を企業・団体等の従業員・職員等に提供している。	○	○		
	【公正な待遇】 ・能力に応じた雇用形態の転換制度(パート→正社員等)や、雇用形態に問わらない同一労働同一賃金等の原則の遵守など、公正な待遇を実現している。	○	○		
②環境	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握と対策行動の策定・取組】 ・企業・団体等が活動する上で、エネルギー使用量、温室効果ガスの排出量を把握し、照明のLED化や植林などの森林環境保護活動といった具体的活動により、その削減・改善に取り組んでいる。	○	○		
	【環境汚染予防】 ・廃棄物や法令等で規制されている有害化学物質の適切な管理及び処理に取り組んでいる。	○	○		
	【生物多様性】 ・企業・団体等の活動が生物多様性や生態系等に悪影響を及ぼさないよう配慮している。		○		
	【資源の節約・保全と効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うために、ペーパーレス化や食品ロスの削減等の具体的行動を通じ、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	○	○		
	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善又は再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		○		

分野	項目及び取組例	3側面該当			主なSDGs関連ゴール
		経済	社会	環境	
③公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止、公正な競争、個人情報保護】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針、不正な行為に関与しない方針を掲げ、企業・団体等内部の従業員・職員等に周知しているほか、個人情報を適切に管理し、研修等を通じてルールを周知徹底している。		○		
	【フェアトレード】 ・公正な価格での事業発注や、発展途上国などで作られた作物や製品について、認証された品物のみ取り扱うなど、フェアトレードを実施している。	○	○		   
	【生産・物流・販売の管理】 ・サプライヤー(仕入れ先)や事業パートナー、企業・団体等内部において、人権や知的財産権の侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	○	○	○	        
④製品・サービス	【製品・サービスの安全性と品質保証】 ・取扱製品やサービスの安全性を確保するための仕組み、品質のよい製品やサービスを提供するための仕組みを構築している。	○	○		  
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の購入や商品の取扱い、サービスの提供、製品の開発・設計に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証、プラスチックごみの出ない製品開発等)。	○	○	○	   
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する商品の取扱い・製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる(空き家の活用、子ども食堂の運営、困難者向けの居場所提供、ユニバーサルデザインの導入、高断熱住宅の開発によるエネルギーロスの最小限化等)。	○	○	○	                

分野	項目及び取組例	3側面該当			主なSDGs関連ゴール
		経済	社会	環境	
⑤ 社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・企業・団体等での活動等が地域に与える影響を把握し適切に対応している。	○	○	○	
	【社会貢献活動】 ・自治活動、福祉活動、防災活動、寄附、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる(地元お祭りの後援・参加、環境美化活動、スポーツ少年団の組織・指導、社有グラウンド等の一般開放、登下校の見守り、交通安全教室の実施、消防団加入促進等)。また、職場体験、インターンシップの受け入れ、職場見学受業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		○	○	
	【地域資源】 ・地域資源(地場産)を積極的に利用(地産地消、地産外商)している。	○	○	○	
⑥ 組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標、団体の活動目標等を内部で共有し、達成に向けた取組を実践している。	○			
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが企業・団体内部に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。		○		
	【組織体制】 ・企業・団体活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している。		○		
	【ステークホルダー(消費者、投資家など及び社会全体)との対話】 ・ステークホルダーとの対話により、企業・団体活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。	○	○		
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している。また、事故や災害などの発生に備え、事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		○		
	【社会的責任】 ・企業活動の持続可能性を高めるため、スムーズな事業承継の準備などを含め、CSR(企業等の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して責任を持った対応に取り組んでいる。		○		